

麻酔科専門医研修プログラム名	慶應義塾大学病院麻酔科専門医研修プログラム	
連絡先	TEL	03-3353-1211
	FAX	03-3356-8439
	e-mail	keioanesresidenrt@gmail.com
	担当者名	櫻井裕教
プログラム責任者 氏名	森崎浩	
研修プログラム 病院群	責任基幹施設	慶應義塾大学病院
	基幹研修施設	けいゆう病院 北里大学北里研究所病院
	関連研修施設	東京都立小児総合医療センター 静岡県立静岡がんセンター 国立循環器病センター 東京都立大塚病院 国立病院機構東京医療センター 東京歯科大学市川総合病院 国立成育医療研究センター 埼玉医科大学総合医療センター 東海大学医学部附属病院 さいたま市立病院 済生会中央病院 済生会横浜市東部病院 川崎市立川崎病院 川崎市立井田病院 国家公務員共済組合連合会立川病院

<p>プログラムの概要と特徴</p>	<p>責任基幹施設である慶應義塾大学病院をはじめ、数多くの特徴ある研修施設において、専攻医が整備指針に定められた麻酔科研修カリキュラムの到達目標を達成できる教育を提供し、十分な知識と技術を備えた麻酔科専門医を育成する。手術室における様々な局面に的確に対応できる臨床麻酔能力育成を第一に、集中治療、疼痛緩和治療、小児、心臓麻酔等の特殊麻酔分野への知識、技術も習得する。また周術期管理に携わる他の専門職と良好なコミュニケーション能力も併せて育成する。</p>
<p>プログラムの運営方針</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・研修4年間の内約2年は、責任基幹施設で研修を行う。残りの2年間で、2ないし3つの研修施設で研修を行う。 ・専攻医個々の経験症例数の進捗状況、興味対象分野の変遷、家庭の状況、健康状態などに応じて、慶應義塾大学病院および出向施設での勤務期間は柔軟に対応するものとする。

2014年度慶應義塾大学病院麻酔科専門医研修プログラム

1. プログラムの概要と特徴

責任基幹施設である慶應義塾大学病院をはじめ、数多くの特徴ある研修施設において、専攻医が整備指針に定められた麻酔科研修カリキュラムの到達目標を達成できる教育を提供し、十分な知識と技術を備えた麻酔科専門医を育成する。手術室における様々な局面に的確に対応できる臨床麻酔能力育成を第一に、集中治療、疼痛緩和治療、小児、心臓麻酔等の特殊麻酔分野への知識、技術も習得する。また周術期管理に携わる他の専門職と良好なコミュニケーション能力も併せて育成する。

2. プログラムの運営方針

- ・研修4年間の内約2年は、責任基幹施設で研修を行う。残りの2年間で、2ないし3つの研修施設で研修を行う。
- ・専攻医個々の経験症例数の進捗状況、興味対象分野の変遷、家庭の状況、健康状態などに応じて、慶應義塾大学病院および出向施設での勤務期間は柔軟に対応するものとする。

3. 研修施設の指導体制と前年度麻酔科管理症例数

1) 責任基幹施設

慶應義塾大学病院

プログラム責任者：森崎浩

指導医：橋口さおり

香取信之

藍公明

小杉志都子

印南靖志

鈴木武志

山田高成

関博志

専門医：櫻井裕教

麻酔科認定病院番号：3

麻酔科管理症例7600症例

	症例数
小児（6歳未満）の麻酔	460症例

帝王切開術の麻酔	242症例
心臓血管手術の麻酔 (胸部大動脈手術を含む)	260症例
胸部外科手術の麻酔	340 症例
脳神経外科手術の麻酔	400症例

2) 基幹研修施設

けいゆう病院

研修プログラム管理者：佐藤真人

指導医：岡田尚子

専門医：羽賀亜矢子

堀内桂

鈴木康生

麻酔科認定病院番号：7965

麻酔科管理症例 3050症例

	全症例	本プログラム分
小児（6歳未満）の麻酔	25症例	20症例
帝王切開術の麻酔	344症例	100症例
心臓血管手術の麻酔 (胸部大動脈手術を含む)	0症例	0症例
胸部外科手術の麻酔	55症例	35 症例
脳神経外科手術の麻酔	0症例	0症例

基幹研修施設

北里大学北里研究所病院

研修プログラム管理者：柏木政憲

指導医：岡田美砂

専門医：西脇千恵美

増田祐也

増田清夏

麻酔科認定病院番号：1248

麻酔科管理症例 1459症例

	全症例	本プログラム分
小児（6歳未満）の麻酔	0症例	0症例
帝王切開術の麻酔	0症例	0症例
心臓血管手術の麻酔 （胸部大動脈手術を含む）	0症例	0症例
胸部外科手術の麻酔	11症例	6 症例
脳神経外科手術の麻酔	0症例	0症例

3) 関連研修施設

さいたま市立病院

研修実施責任者：忍田純哉

指導医：中村教人

専門医：橋内章

佐久間貴裕

植松明美

麻酔科認定病院番号：612

麻酔科管理症例 3454症例

	全症例	本プログラム分
小児（6歳未満）の麻酔	308症例	44症例
帝王切開術の麻酔	351症例	50症例
心臓血管手術の麻酔 （胸部大動脈手術を含む）	60症例	20症例
胸部外科手術の麻酔	78症例	16 症例
脳神経外科手術の麻酔	64症例	10症例

関連研修施設

東京都立小児総合医療センター

研修実施責任者：山本信一

指導医：宮澤典子

石田佐知

専門医：神藤篤史

麻酔科認定病院番号：1468

麻酔科管理症例 3820症例

	全症例	本プログラム分
小児（6歳未満）の麻酔	2087症例	200症例
帝王切開術の麻酔	0症例	0症例
心臓血管手術の麻酔 （胸部大動脈手術を含む）	157症例	0症例
胸部外科手術の麻酔	64症例	0 症例
脳神経外科手術の麻酔	97症例	0症例

関連研修施設

東京都済生会中央病院

研修実施責任者：中塚逸央

指導医：関口芳弘

専門医：牧戸香詠子

籠谷亜弥

尾原佑子

麻酔科認定病院番号：978

麻酔科管理症例 2691症例

	全症例	本プログラム分
小児（6歳未満）の麻酔	20症例	0症例
帝王切開術の麻酔	0症例	0症例
心臓血管手術の麻酔 （胸部大動脈手術を含む）	92症例	30症例
胸部外科手術の麻酔	145症例	40 症例
脳神経外科手術の麻酔	32症例	0症例

関連研修施設

東京都立大塚病院

研修実施責任者：島田宗明

指導医：逢坂佳宗

専門医：斎藤郁恵

増田清夏

麻酔科認定病院番号：472

麻酔科管理症例 2604症例

	全症例	本プログラム分
小児（6歳未満）の麻酔	151症例	10症例
帝王切開術の麻酔	254症例	10症例
心臓血管手術の麻酔 （胸部大動脈手術を含む）	0症例	0症例
胸部外科手術の麻酔	35症例	0症例
脳神経外科手術の麻酔	48症例	0症例

関連研修施設

済生会横浜市東部病院

研修実施責任者：豊田佳隆

指導医：高橋宏行

佐藤智行

秋山苑生

専門医：佐伯陽子

永渕万理

麻酔科認定病院番号：1315

麻酔科管理症例 4511症例

	全症例	本プログラム分
小児（6歳未満）の麻酔	89症例	20症例
帝王切開術の麻酔	283症例	20症例
心臓血管手術の麻酔 （胸部大動脈手術を含む）	177症例	20症例

胸部外科手術の麻酔	127症例	20 症例
脳神経外科手術の麻酔	167症例	20症例

関連研修施設

川崎市立川崎病院

研修実施責任者：森田慶久

指導医：増田純一

専門医：菅規久子

安藤嘉門

阪本浩平

岡部久美子

小室祥子

麻酔科認定病院番号：199

麻酔科管理症例 4348症例

	全症例	本プログラム分
小児（6歳未満）の麻酔	86症例	11症例
帝王切開術の麻酔	166症例	66症例
心臓血管手術の麻酔 （胸部大動脈手術を含む）	42症例	4症例
胸部外科手術の麻酔	109症例	9 症例
脳神経外科手術の麻酔	132症例	7症例

関連研修施設

川崎市立井田病院

研修実施責任者：小沢治子

指導医：石川明子

麻酔科認定病院番号：1284

麻酔科管理症例 1335症例

	全症例	本プログラム分
小児（6歳未満）の麻酔	0症例	0症例

帝王切開術の麻酔	0症例	0症例
心臓血管手術の麻酔 (胸部大動脈手術を含む)	0症例	0症例
胸部外科手術の麻酔	74症例	74 症例
脳神経外科手術の麻酔	3症例	0症例

関連研修施設

国家公務員共済組合連合会立川病院

研修実施責任者：松本みどり

指導医：羽鳥英樹

専門医：富沢和夫

川原秀嗣

麻酔科認定病院番号：337

麻酔科管理症例 2609症例

	全症例	本プログラム分
小児（6歳未満）の麻酔	9症例	0症例
帝王切開術の麻酔	142症例	0症例
心臓血管手術の麻酔 (胸部大動脈手術を含む)	0症例	0症例
胸部外科手術の麻酔	88症例	50 症例
脳神経外科手術の麻酔	46症例	0症例

関連研修施設

東海大学医学部附属病院

研修実施責任者：鈴木利保

指導医：金田徹

西山純一

伊藤健二

山崎一

伊藤美保

松田光正
齋藤啓一郎
瓜本言哉

麻酔科認定病院番号：116
麻酔科管理症例 7453症例

	全症例	本プログラム分
小児（6歳未満）の麻酔	491症例	200症例
帝王切開術の麻酔	256症例	100症例
心臓血管手術の麻酔 （胸部大動脈手術を含む）	485症例	150症例
胸部外科手術の麻酔	482症例	200 症例
脳神経外科手術の麻酔	314症例	100症例

関連研修施設

国立循環器病研究センター
研修実施責任者：大西佳彦
指導医：亀井政孝
吉谷健司
専門医：三宅絵里
加藤真也

麻酔科認定病院番号：168
麻酔科管理症例 2419症例

	全症例	本プログラム分
小児（6歳未満）の麻酔	241症例	24症例
帝王切開術の麻酔	105症例	10症例
心臓血管手術の麻酔 （胸部大動脈手術を含む）	1140症例	110症例
胸部外科手術の麻酔	0症例	0 症例
脳神経外科手術の麻酔	429症例	42症例

関連研修施設

独立行政法人国立病院機構東京医療センター

プログラム責任者：小林佳郎 麻酔科医長・代表専門医

事務担当者：金子武彦

指導医かつ専門医：小林佳郎

武田純三

吉川 保

青山康彦

金子武彦

尾崎由佳

和田浩輔

専門医： 宮下佳子

安村里絵

山崎治幸

麻酔科認定病院番号：221

麻酔科管理症例 3948症例

	全症例	本プログラム分
小児（6歳未満）の麻酔	60症例	5症例
帝王切開術の麻酔	189症例	10症例
心臓血管手術の麻酔 （胸部大動脈手術を含む）	85症例	10症例
胸部外科手術の麻酔	107症例	10 症例
脳神経外科手術の麻酔	101症例	10症例

関連研修施設

静岡県立静岡がんセンター(以下 静岡がんセンター)

プログラム責任者：玉井直

指導医：玉井直（麻酔、マネジメント、医療倫理、医療安全、集中治療医学）

江間義明（麻酔全般、周術期疼痛管理、胸部外科麻酔）

竹口有美（麻酔全般、ペインクリニック、緩和ケア、小児麻酔）

大塚仁美（麻酔全般）

専門医：安藤憲興（麻酔全般、救急、集中治療）

山下麻子

麻酔科認定病院番号：972

麻酔科管理症例 3,282症例（2013年）

	全症例	本プログラム分
小児（6歳未満）の麻酔	7症例	0症例
帝王切開術の麻酔	0症例	0症例
心臓血管手術の麻酔 （胸部大動脈手術を含む）	0症例	0症例
胸部外科手術の麻酔	411症例	25 症例
脳神経外科手術の麻酔	74症例	25症例

関連研修施設

国立成育医療研究センター

研修実施責任者：鈴木 康之

指導医：鈴木 康之（麻酔、集中治療）

田村 高子（麻酔）

糖谷 周吾（麻酔）

近藤 陽一（麻酔）

専門医：佐藤 正規（麻酔）

稲村 ルイ（麻酔）

小暮 泰大（麻酔）

大杉 浩一（麻酔）

麻酔科認定病院番号：87

麻酔科管理症例 5,086症例（2013年）

	全症例	本プログラム分
小児（6歳未満）の麻酔	2724症例	200症例
帝王切開術の麻酔	649症例	20症例
心臓血管手術の麻酔	240症例	20症例

(胸部大動脈手術を含む)		
胸部外科手術の麻酔	64症例	5 症例
脳神経外科手術の麻酔	193症例	10症例

関連研修施設

埼玉医科大学総合医療センター (以下、SMC)

プログラム責任者：小山 薫

指導医：小山 薫

照井 克生

鈴木 俊成

田村 和美

山家 陽児

専門医：松田 祐典

田澤 和雅

成田 優子

皆吉 寿美

大浦 由香子

野本 華子

麻酔科認定病院番号：390

麻酔科管理症例 6, 448症例

	全症例	本プログラム分
小児 (6歳未満) の麻酔	208症例	25症例
帝王切開術の麻酔	609症例	50症例
心臓血管手術の麻酔 (胸部大動脈手術を含む)	87症例	10症例
胸部外科手術の麻酔	205症例	10 症例
脳神経外科手術の麻酔	320症例	25症例

関連研修施設

東京歯科大学市川総合病院 (以下、市川総合病院)

研修実施責任者：小板橋 俊哉

専門医：小板橋 俊哉

芹田 良平

大内 貴志

加藤 崇央

小菌 裕紀

加藤 梓

麻酔科認定病院番号：688

麻酔科管理症例 3,198症例

	全症例	本プログラム分
小児（6歳未満）の麻酔	71症例	21症例
帝王切開術の麻酔	116症例	26症例
心臓血管手術の麻酔 （胸部大動脈手術を含む）	102症例	27症例
胸部外科手術の麻酔	23症例	0 症例
脳神経外科手術の麻酔	59症例	9症例

本プログラムにおける前年度症例合計

麻酔科管理症例：7600症例

	合計症例数
小児（6歳未満）の麻酔	1161症例
帝王切開術の麻酔	574症例
心臓血管手術の麻酔 （胸部大動脈手術を含む）	576症例
胸部外科手術の麻酔	794 症例
脳神経外科手術の麻酔	618症例

4. 募集定員

24名

5. プログラム責任者 問い合わせ先

慶應義塾大学病院

麻酔学教室 森崎浩

〒160-8582

東京都新宿区信濃町35

TEL 03-3353-1211

6. 本プログラムの研修カリキュラム到達目標

①一般目標

安全かつ安心な周術期医療の提供といった国民のニーズに応えることのできる、麻酔科およびその関連分野の診療を実践する専門医を育成する。具体的には下記の4つの資質を修得する。

- 1) 十分な麻酔科領域、および麻酔科関連領域の専門知識と技量
- 2) 刻々と変わる臨床現場における、適切な臨床的判断能力、問題解決能力
- 3) 医の倫理に配慮し、診療を行う上での適切な態度、習慣
- 4) 常に進歩する医療・医学を則して、生涯を通じて研鑽を継続する向上心

②個別目標

目標1 基本知識

麻酔科診療に必要な下記知識を習得し、臨床応用できる。具体的には公益法人日本麻酔科学会の定める「麻酔科医のための教育ガイドライン」の中の学習ガイドラインに準拠する。

1) 総論：

- a) 麻酔科医の役割と社会的な意義、医学や麻酔の歴史について理解している。
- b) 麻酔の安全と質の向上：麻酔の合併症発生率、リスクの種類、安全指針、医療の質向上に向けた活動などについて理解している。手術室の安全管理、環境整備について理解し、実践できる。

2) 生理学：下記の臓器の生理・病態生理、機能、評価・検査、麻酔の影響などについて理解している。

- a) 自律神経系
- b) 中枢神経系

- c) 神経筋接合部
- d) 呼吸
- e) 循環
- f) 肝臓
- g) 腎臓
- h) 酸塩基平衡, 電解質
- i) 栄養

3) 薬理学: 薬力学, 薬物動態を理解している. 特に下記の麻酔関連薬物について作用機序, 代謝, 臨床上の効用と影響について理解している.

- a) 吸入麻酔薬
- b) 静脈麻酔薬
- c) オピオイド
- d) 筋弛緩薬
- e) 局所麻酔薬

4) 麻酔管理総論: 麻酔に必要な知識を持ち, 実践できる

- a) 術前評価: 麻酔のリスクを増す患者因子の評価, 術前に必要な検査, 術前に行うべき合併症対策について理解している.
- b) 麻酔器, モニター: 麻酔器・麻酔回路の構造, 点検方法, トラブルシューティング, モニター機器の原理, 適応, モニターによる生体機能の評価, について理解し, 実践ができる.
- c) 気道管理: 気道の解剖, 評価, 様々な気道管理の方法, 困難症例への対応などを理解し, 実践できる.
- d) 輸液・輸血療法: 種類, 適応, 保存, 合併症, 緊急時対応などについて理解し, 実践ができる.
- e) 脊髄くも膜下麻酔, 硬膜外麻酔: 適応, 禁忌, 関連する部所の解剖, 手順, 作用機序, 合併症について理解し, 実践ができる
- f) 神経ブロック: 適応, 禁忌, 関連する部所の解剖, 手順, 作用機序, 合併症について理解し, 実践ができる.

5) 麻酔管理各論: 下記の様々な科の手術に対する麻酔方法について, それぞれの特性と留意すべきことを理解し, 実践ができる.

- a) 腹部外科
- b) 腹腔鏡下手術
- c) 胸部外科

- d) 成人心臓手術
- e) 血管外科
- f) 小児外科
- g) 小児心臓外科
- h) 高齢者の手術
- i) 脳神経外科
- j) 整形外科
- k) 外傷患者
- l) 泌尿器科
- m) 産婦人科
- n) 眼科
- o) 耳鼻咽喉科
- p) レーザー手術
- q) 口腔外科
- r) 臓器移植
- s) 手術室以外での麻酔

6) 術後管理：術後回復とその評価，術後の合併症とその対応に関して理解し，実践できる。

7) 集中治療：成人・小児の集中治療を要する疾患の診断と集中治療について理解し，実践できる。

8) 救急医療：救急医療の代表的な病態とその評価，治療について理解し，実践できる。それぞれの患者にあった蘇生法を理解し，実践できる。AHA-ACLS，またはAHA-PALSプロバイダーコースを受講し，プロバイダーカードを取得している。

9) ペイン：周術期の急性痛・慢性痛の機序，治療について理解し，実践できる。

目標2 診療技術

麻酔科診療に必要な下記基本手技に習熟し，臨床応用できる。具体的には日本麻酔科学会の定める「麻酔科医のための教育ガイドライン」の中の基本手技ガイドラインに準拠する。

1) 基本手技ガイドラインにある下記それぞれの基本手技について，定められたコース目標に到達している。

- a) 血管確保・血液採取
- b) 気道管理

- c) モニタリング
- d) 治療手技
- e) 心肺蘇生法
- f) 麻酔器点検および使用
- g) 脊髄くも膜下麻酔
- h) 鎮痛法および鎮静薬
- i) 感染予防

目標3 マネジメント

麻酔科専門医として必要な臨床現場での役割を実践することで、患者の命を助けることができる。

- 1) 周術期などの予期せぬ緊急事象に対して、適切に対処できる技術，判断能力を持っている。
- 2) 医療チームのリーダーとして，他科の医師，他職種を巻き込み，統率力をもって，周術期の刻々と変化する事象に対応をすることができる。

目標4 医療倫理，医療安全

医師として診療を行う上で，医の倫理に基づいた適切な態度と習慣を身につける．医療安全についての理解を深める．

- 1) 指導担当する医師とともにon the job training環境の中で，協調して麻酔科診療を行うことができる。
- 2) 他科の医師，コメディカルなどと協力・協働して，チーム医療を実践することができる。
- 3) 麻酔科診療において，適切な態度で患者に接し，麻酔方法や周術期合併症をわかりやすく説明し，インフォームドコンセントを得ることができる。
- 4) 初期研修医や他の医師，コメディカル，実習中の学生などに対し，適切な態度で接しながら，麻酔科診療の教育をすることができる。

目標5 生涯教育

医療・医学の進歩に則して，生涯を通じて自己の能力を研鑽する向上心を醸成する。

- 1) 学習ガイドラインの中の麻酔における研究計画と統計学の項目に準拠して，EBM，統計，研究計画などについて理解している。
- 2) 院内のカンファレンスや抄読会，外部のセミナーやカンファレンスなどに出席し，

積極的に討論に参加できる。

3) 学術集会や学術出版物に、症例報告や研究成果の発表をすることができる。

4) 臨床上の疑問に関して、指導医に尋ねることはもとより、自ら文献・資料などを用いて問題解決を行うことができる。

③経験目標

研修期間中に手術麻酔，集中治療，ペインの十分な臨床経験を積む。通常の全身麻酔・硬膜外麻酔・脊髄くも膜下麻酔・神経ブロックの症例経験に加え，下記の所定の件数の特殊麻酔を担当医として経験する。ただし，帝王切開手術，胸部外科手術，脳神経外科手術に関しては，一症例の担当医は1人，小児と心臓血管手術については一症例の担当医は2人までとする。

・小児（6歳未満）の麻酔	25症例
・帝王切開術の麻酔	10症例
・心臓血管外科の麻酔 （胸部大動脈手術を含む）	25症例
・胸部外科手術の麻酔	25症例
・脳神経外科手術の麻酔	25症例

7. 各施設における到達目標と評価項目

各施設における研修カリキュラムに沿って，各参加施設において，それぞれの専攻医に対し年次毎の指導を行い，その結果を別表の到達目標評価表や各施設のプログラム責任者との面談、研修管理委員会のディスカッションの内容を参考にして到達目標の達成度を評価する。

